

サンタが夜宮に降りてくる 12月15日(日)

戸畑区 夜宮青少年センター

青少年ボランティアは、活動の準備として事前研修【12月8日】を受け、カード作りやオーナメント作り、ケーキ作りなどを練習しました。活動日の当日は、クリスマス会に参加する小学生に楽しい時間とよい思い出づくりができるように一生懸命にがんばりました。



○ 今回の活動で小学生と関わり、コミュニケーション能力を高めることができた。小学生と関わることは、大変で難しいところもあったが、課題を解決する能力を身につけることができた。【自由ヶ丘高校2年】

○ 普段小学生の子達と一日中コミュニケーションを取り合うという機会がなく、とても新鮮でした。最初はどのようにして声かけしたらいいのかなどわからないことがたくさんあったけれど、やっていくうちに同じ班の子たち皆に名前を覚えてもらえてとても嬉しかったです。将来子供と関わる仕事についてみたいです。

【明治学園高校2年】

北九州市障害者ボウリング大会 12月15日(日)

八幡東区 桃園シティボール

ボウリングを通じてスポーツの楽しさを体験したり、障がいに対する理解を深めたりして、障がい者の社会参加推進を目的とする大会です。ボランティアの皆さんは、レーンへの案内や受付、点数記録などの仕事をしました。



○ 初めて障がいのある方と関わってみて、これまで私がおもっていた障がいのある方への理解や知識には、間違っている点が多くあるなど感じました。初めに「お願いします。」と言ってくれたり、レーンを案内するときに「一人でいきます。」と言って歩いていく姿を見たりして、「障がい者だからできない。」「手伝いをしてあげた方が本人のためになる。」と思い込んでいた部分は、違うと分かりました。笑顔で楽しんだり、ボウリングを頑張ったりして

いる方々のお手伝いをする事ができたので、とてもやりがいや満足感がありました。目を見て接することで相手が笑顔になったので、そのことは大切だなと思いました。今後の生活の中で、障がいのある方と関わる機会があれば活かしたいです。

【門司学園高校2年】

○ 障がいのある方が参加する大会のボランティアは、初めてでした。街中で見かけたときの関わり方やサポートの仕方など、どうしたらいいのだろうと考え、動けないことばかりだったため、今回でコミュニケーションの取り方やサポートについて少し分かった気がします。困っている方を見かけたら、声をかけたいと思いました。正しい接し方などはないと思います。人それぞれだと思います。なので、変に構えるのではなく、心からコミュニケーションをとっていききたいです。

【北九州市立大学3年】

ヤングサンタ 12月22日(日)

八幡西区 コムシティ～市内各所

児童福祉施設や入院中の子ども達に、ボランティアのサンタがプレゼントを届けることで、子どもたちに夢と希望を与える行事です。青少年ボランティアは、見習いのサンタクロス「ヤングサンタ」として寸劇をしたり、プレゼントを届けたりしました。



○ 子ども達のキラキラした笑顔を見ることができて、とても良い経験になりました。子ども達を楽しませようとする中で、私も楽しくみんなが明るい気持ちになる素晴らしいボランティアだと感じました。初対面の人と同じチームになり、同じ目標に向かって協力することは、医療現場においても重要なことであるため、今回学んだ人とのつながりや笑顔の輪の大切さを忘れず、今後活かしたいです。

【北九州市立看護専門学校2年】

北九州市ふるさとかるた大会 12月22日(日)

小倉北区 AIM

今年の大会には、多くのチームの参加があり、熱い戦いが一日繰り広げられました。青少年のボランティアは、試合結果の集計や確認、試合の記録や副審などを担当しました。



○ 北九州の伝統について、かるたという遊びを通して知ることが良かった。大学生の方々と一緒にボランティアをすることは初めてだったが、色々話をしてくれて、交流を深めることができて嬉しかったので、また様々な学年の人が集まるボランティアに参加してみたいと思った。【小倉西高校2年】

○ 子ども達が真剣に取り組んでいる姿を見て、この大会のために頑張ってきたのだなと思いました。負けて泣いている子もいれば、勝って喜んでる子もいて、見ていてとても楽しかったです。久しぶりに子どもと触れ合えて良かったです。

【大原ビジネス公務員専門学校1年】

1月



北九州市二十歳の記念式典 1月12日(日)

小倉北区 メディアドーム

今年は、会場を新たに西日本総合展示場に変えて行われた二十歳の式典で、青少年ボランティアは、フォトパネルやモザイクアート、持ち物検査など式場内に設けられたそれぞれの場所で、業務を担当しました。



○ 警備やボランティア、今回の式典に携わっている方々の人数に圧倒されました。自分一人が抜けただけでも計画に支障がでることを身をもって感じました。式典の途中で扉を閉めても人の行き来がなくならなかったとき、私は何も対応ができませんでした。ボランティアだからと受け身でいすぎてしまったと反省しました。割り当てられた仕事をこなすのは当たり前にしても、自分からできることを見つけて行くのも大事だと感じました。至らぬ点もあったかと思いますが、少しでも二十歳を迎えた方々を笑顔にするお手伝いが出来ていたらいいなと思います。これからもボランティアを続けていきたいです。

【自由ヶ丘高校2年】

○ わからない方や困っている方が大人数いた場合でも、大きな声を出したら、一回でみんなに伝わり声を出す大切さを学びました。声をかけていただいた方には寄り添い、丁寧に答えする事も学びました。

【一般】

Fリーグ ファイナルシーズン 北九州ラウンド 1月24日(金)～26日(日) 八幡東区 北九州市総合体育館

Fリーグとは、日本でのフットサルのトップリーグのことです。その各チームの選手たちが、ファイナルシーズンラウンドを北九州市立総合体育館で戦いました。青少年ボランティアは、受付や入場口の管理などの運営補助や会場の片付けなど行いました。

○ 今回でフットサルに関わるボランティアは2回目でしたが、前回とは全く違った体験ができました。前回は大人数だったため、誰かと協力して仕事をすることが多かったのですが、今回は3人しかいなかったため、1人です仕事が多いい経験になりました。また今回は1回目に一緒にボランティアをした人と再会したため、話が弾み活動しやすかったです。やはり色々なボランティアに参加すると、関わる人も増え、色々な話が聞けて良い経験になるなど改めて感じました。またボランティアを続けたいです。

【九州国際大学付属高校1年】